

令和7年度 第1回東京都相談支援従事者研修検討会 議事録【要旨】

日時 令和7年5月21日（水曜日） 10時から12時まで

出席者 吉川委員、稲垣委員、神作委員、芝委員、修理委員、高江洲委員、辻委員、蛭川委員  
古橋委員、横田委員

欠席者 藤田委員

傍聴 6名

事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長和田 他4名

1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料確認</li><li>次第</li><li>資料1 令和7年度東京都相談支援従事者研修検討会委員名簿</li><li>資料2 東京都相談支援従事者研修検討会設置要綱</li><li>資料3 令和7年度障害者総合支援法等関連研修検討会の構造図（案）</li><li>資料4 令和7年度東京都相談支援従事者研修検討会 年間活動方針及び活動計画案について</li><li>資料5 令和7年度障害者総合支援法等関連研修 年間スケジュール（案）</li><li>参考資料1 令和6年度東京都相談支援従事者研修検討会 活動報告</li><li>参考資料2 令和6年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 活動報告</li><li>参考資料3 私たちが目指す相談支援専門員の姿 Ver. 8</li><li>参考資料4 令和7年度 相談支援従事者指導者養成研修会 プログラム案</li><li>・本日の出欠状況の確認。</li><li>・本日の検討会は、記録のため速記の方が参加をし、録音をすること、傍聴者がいることについてもご了解いただきたい。</li><li>・資料の公開について、検討会設置要綱資料の2の7の規定により、議事録及び資料は公開することになっているが、本日の出席委員の議決により、非公開ということもできる。公開の場合、東京都心身障害者福祉センターのホームページで掲載する。</li></ul>
-----	---

2 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長挨拶

地域支援課長	<ul style="list-style-type: none"><li>・本日は令和7年度第1回相談支援従事者研修検討会の開催に当たり、事務局を代表して一言ご挨拶させていただく。</li><li>・このたびは、大変お忙しい中、本研修検討会の委員としてお力添えをいただき、感謝申し上げます。相談支援従事者研修は、地域の相談支援体制の要となる相談支援専門員を確保するために必要不可欠な研修。また、受講した方が東京都における相談支援専門員としての役割を地域の中で発揮できる研修となるよう、本検討会を有意義なものにしていきたい。</li><li>・今年度は、障害当事者であるサポーターの方々の初任者研修への参加の再開を</li></ul>
--------	---

	検討するため、検討会のチームを2チームから3チームに増やすと聞いている。委員の皆様を活発な議論をいただきけるよう、力添えをいただきたい。
--	--

### 3 委員紹介（自己紹介）

各委員・傍聴者	(省略)
---------	------

### 4 検討事項

#### (1) 委員長選出

蛭川委員	・吉川委員を委員長に推薦する。
各委員	(了承)
吉川委員長	・今年度は委員の交代があると同時に、昨年度から引き続きの検討事項等がある。円滑に議論を進めていけるようにバックアップに努めたいと思うので、よろしくお願ひしたい。
事務局	・この先の進行は、吉川委員長にお願いする。
吉川委員長	・副委員長の指名については、本会議後半でのチームごとの話し合いでリーダーを決め、その方に副委員長になっていただくこととしたいがいかがか。
各委員	(了承)

#### (2) 年間活動方針及び活動計画案について

吉川委員長	・今年度の活動方針及び活動計画案について、昨年度の引継ぎ事項を踏まえて事務局から説明をお願いしたい。
事務局	(昨年度からの引継ぎ事項について) ・参考資料1の3ページ参照。引継ぎ事項は4点。 ・1点目は、実習説明会の検討と実習対応者のバックアップについて。具体的な内容は6点ある。 地域実習をより効果的に実施してもらえるよう、地域実習対応者に演習指導者養成研彦の受講を働きかける。 初任者研修、現任研修の目的、内容を整理して分かりやすくまとめたものを作成する。 地域実習について、各研修の実習の違いを比較して確認できるものを示せるようにする。 地域実習について、実習説明会等で区市町村での取り組みを、他の区市町村へ伝える機会を作る。 実習対応のボトムアップにつなげられるよう、引き続きスーパービジョンをテーマにした研修を実施する。 初任者研修について、受講者へ実習の心構え等を伝える時間を持つことを検討する。

- ・ 2点目、ファシリテーターの育成の検討について。具体的内容は2点。  
 演習指導者養成研修（以下「演指研」という。）受講者が実際にファシリテーターを担う際に、不安が大きいとの声があることから、フォローできる仕組みを検討する。  
 演習指導者がスキルアップできるよう、ファシリテーター説明会の内容を検討する。
- ・ 3点目、行政向け「私たちが目指す相談支援専門員の姿」の作成。こちらは引き続き資料を作成し、まずは実習説明会の場などで配布できるようにすすめていく。
- ・ 4点目は、初任者研修へのサポーターの参加について。初任者研修へのサポーター参加について、目的や方法、手順等を検討する。  
 （年間活動方針及び活動計画の事務局案について）資料4参照
- ・ 年間活動方針案としては次の4点になる。
  - 1点目、実習説明会の内容と実習対応のバックアップについて検討。
  - 2点目、ファシリテーターの育成について検討。
  - 3点目、行政向け「私たちが目指す相談支援専門員の姿」を作成し、相談支援専門員の役割を伝えられるようにする。
  - 4点目、初任者研修へのサポーターの参加について検討する。  
 （検討の体制について）
- ・ これらのことを検討するチームが、課題別検討体制（チーム編成）案と研修別検討体制案となり、委員の皆様にはそれぞれの体制に属していただく想定。
- ・ 研修別の検討体制は6チームとなり、引き続き検討会のOBや、研修のファシリテーターなどに研修協力者となっていただき進めていく予定。各チームにリーダーを置き、チームの取りまとめをお願いします。
- ・ 課題別検討体制のチーム案は、内容整理、人材育成、サポーターの3チーム体制で進める。検討会の中で課題別チームで話し合う時間を持ち、それ以降の活動につなげる。次の検討会で、その間の活動報告や意見が欲しいこと、議論が必要なことを共有していただくイメージ。  
 取組の内容は、内容整理チームは年間活動方針案の3に該当する、行政向けの相談支援専門員の目指す姿の作成。人材育成チームは1と2に該当する、実習説明会の内容の検討、実習対応者のバックアップ、ファシリテーターの育成についての検討。サポーターチームについては、4の初任者研修へのサポーターの参加についての検討としている。
- ・ 研修別チームについて、一部研修の協力者が未定の状態。専門コース別研修2については、協力者1名で行うことが決まり、3人体制で進めることが決まった。
- ・ 専門コース別研修1については、今年度、サービス管理責任者研修の検討会の委員と本検討会委員との合同のチームとなっている。内容については、後ほど

	<p>説明したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料4の裏面については年間の活動計画案となるので、会議後半でチームごとの話し合いをする際に参照いただきたい。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問、意見はあるか。</li> </ul>
各委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見無し。</li> </ul> <p>(了承)</p>

### (3) 令和7年度研修実施計画について

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の研修の実実施計画について、今年度の動きも併せて事務局から報告をお願いしたい。</li> </ul>
福祉局障害者施策推進部地域生活支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局からの説明の前に、事業者の指定について説明する。</li> <li>東京都では、相談支援従事者研修について、都が直接実施している研修に加えて、平成24年から事業者指定制を導入している。このたび事業者からの申請を受け、指定要領に基づき、令和7年5月1日付で株式会社中川を指定したため情報共有させていただく。実施する研修課程は初任者研修と現任研修。 なお、東京都の指定事業者一覧は福祉局ホームページに掲載している。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>それでは、令和7年度の研修の実実施計画と現時点までの実施状況について説明する。資料5の障害者総合支援法等関連研修年間スケジュール(案)を参照いただきたい。</li> <li>令和7年度相談支援従事者研修の定員について、初任者研修が昨年度より50名増の650名、主任研修が20名減の80名となった。 研修の実実施時期については、専門コース別研修①と②の時期が若干変更になった以外は、おおむね昨年度と同様の状況。</li> <li>続いて、今年度の各チーム等の動きについて報告する。</li> <li>まず初任者研修、現任研修のファシリテーターについては、依頼と調整を3月末から着手し、協力者として手を挙げてくださった方に5月15日に結果をお伝えした。演指研の受講者の方も含めて延べ184名の方々に協力をいただくことになった。 現任研修の申込者が非常に少なく、受講決定者も413名とここ数年で一番少ない状況。そのため、ファシリテーターについても多くの方からご協力の申し出をいただいたもののお断りをせざるを得ない状況となり、事務局一同大変心苦しく思っている。</li> <li>続いて、研修別のチームの状況の報告をする。</li> <li>現任研修チームは、既に研修の資料作成、講義動画の撮影が済んだ。現在はファシリテーター説明会に向けて資料の準備等を進めていただいている。また、現任の実習説明会は、5月28日午前中に実施予定。</li> <li>演指研は昨年度同様、初任コース、現任コースの2コース制で実施する。昨年同様、非常に多くの申込みがあり定員を大幅に超えて受講決定したが、一部の</li> </ul>

	<p>方をお断りせざるを得ない状況となってしまった。研修内容については昨年と大きく変えない方針で、現在、1日目の準備中。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門コース別研修1については障害児支援をテーマに行う。サービス管理責任者研修検討会委員3名と、相談支援従事者研修検討会より稲垣委員とでチームになり、相談支援専門員、児発管、サビ管がともに学べるような研修を一から検討している。昨日まで既に3回打合せを行った。実施時期は2月頃、オンデマンド配信を予定している。</li> <li>・専門コース別研修2については、昨年同様、SVをテーマに9月4日に実施予定。検討会のチームメンバーが二人とも変更になったため、既に2回の打合せを実施した。協力者も決まり内容や分担等を決定した。内容は若干変更を加える予定だが、目的等は変更なく、地域の拠点機関で主に初任者研修の実習対応をする方に受講していただきたいと考えている。募集は7月初旬の予定です。</li> <li>・初任者研修については5月15日に初回の打合せを行った。今年度は昨年度より協力者の人数を増やして、講義動画の再撮影と教材作成を分担し、メンバーの負担を減らして進められるようにしていく方向。</li> <li>・次に参考資料4、国の指導者養成研修について。今年度は6月上旬の3日間、3月の1日という形で実施予定。今年度より各コース2名の参加が可能となり、実施場所も、所沢から都内に変更となった。</li> <li>・事務局から推薦する参加者は、検討委員の方、もしくは研修の検討チームに属する方で、今後も研修づくりに携わっていただける方としている。今年度の参加予定者は、ケアマネジメント基礎コースに芝委員、辻委員、地域づくりコースに稲垣委員、現任研修チーム協力者である相談支援事業所ポルトの田中さん、人材育成コースに神作委員、に受講いただく予定。</li> <li>・そのほか、先ほど福祉局障害者施策推進部地域生活支援課から話があった、指定事業者もケアマネジメント基礎コースと地域づくりコースに1名ずつ、人材育成コースに2名の計4名が参加予定。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問、意見はあるか。</li> </ul>
横田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現任研修の受講者が年々減っている理由はどのようなことが想定されるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つには、今年度から5年の経過措置期間が切れたため、初回の現任研修受講時は2年以上の相談支援の実務が必要になったということがあるのではないか。</li> </ul>
横田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新カリキュラムになり、事例に触れていないと研修もなかなか難しい状況になっていることも影響しているのだろうか。要は、初任者研修を受けたものの、全然、相談支援専門員として業務についておらず、更新しない人が増えている可能性はあるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正直、事務局でも分からないが、年々、現任研修の申込みが減少していることは事実。理由として、対象者の実務経験のことは確実だが、それ以外の理由は逆に教えていただきたい。</li> </ul>

神作委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>やはり実務経験2年間をやっていないと受講できないということが大きいのではないか。資格だけの更新ができなくなってしまい、身近な人でも研修は受講したが、事業所に配置されていないので失効してしまうという方たちの話は聞いているので、その部分は大きいのではないか。逆に、きちんと実務についている人たちがこれから更新をしていくことになると思うので、減ったことが悪いことではないと捉えている。</li> </ul>
横田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>私も同じように受け止めている。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>そうすると、今後の見通しとして研修規模はこのままでいいのかは検討が必要か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>現任研修が受講できず、その方たちがもう一度相談支援専門員をやる際には、恐らく初任者研修を受けることなるので、今年度の初任者研修の申込状況がどうなるかは事務局としては非常に注目している。</li> </ul>
稲垣委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>私自身、主任研修を受講したため現任研修をずっと受けていない状況。私のように、現任研修から受講者としては遠ざかっている方もいるのではないか。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援事業所は法的にも人材投入される分野ではないので、皆様のご意見のとおりなのが起きている感じがするが、いかがか。</li> </ul>
芝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近にも、異動をして初任者として実務についてきたけれども、2年間は満たせず今年も現任研修を受講できない方もいた。</li> <li>また、初任者研修を終えて、4年目ぐらいから業務を始めた場合は2年間の経験は満たせず、再度初任者研修を受講することになる。その場合、初任者として実務に就きつつ初任者研修を受講するようなことが今後は出てきて、ややこしいのと同時に初任者が増えると思った。</li> </ul>
蛭川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>現に私が計画相談で属している事業所でも、すでに相談支援専門員として計画を立てているが、再度、初任者研修を受講した人がいた。でも、以前に受講した時よりも、実務に就いたうえで初任者研修を受講すると、より内容が頭に入ってきて、とても感動して終わったと言っていたので、悪くないのではないかと思う。7日間というのは負担だが、講義の理解が深まったと言っていた。</li> </ul>
神作委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去5年以内に2年間の相談実務経験か現に実務についている方が受講できると思っていたが正しいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>現任研修2回目以降は現に実務に就いている方で良いが、初回の現任研修は2年以上の実務が必要になる。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修がますます充実すると思った。ありがとうございます。</li> <li>その他、意見はないか。</li> </ul>
各委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見無し。</li> </ul> <p>(了承)</p>

#### (4) 検討体制（チーム）に分かれてリーダーの選出等

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討チームごとに意見交換及びリーダー選出について、事務局から方法を説明願いたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間のおおよそのスケジュールの確認、テーマ、目標決めをお願いしたい。</li> <li>・ 終了後、各グループからどなたがリーダーになったかを報告いただき、そのリーダーから話し合い内容の報告をお願いしたい。</li> <li>・ 話し合いにあたっての参考資料はグループごとに配付済み。テーマ決め等にあたってはこの資料とともに参考資料1の引継ぎ事項、資料4の活動計画案を参考にしていきたい。</li> </ul>
全員	(チームに分かれて討論)

#### (5) 各検討チームからの報告

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チームリーダー選出の結果と話し合い内容の報告をお願いしたい。</li> <li>・ 内容整理チームから願います。</li> </ul>
高江洲委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダーは、高江洲が務めることとなった。</li> <li>・ 今年度の内容整理チームの課題は四点。</li> <li>・ 1点目は、昨年度から引き続き行政向け「相談支援専門員の目指す姿」の決定に向けて内容を検討すること。</li> <li>・ 2点目、今年度の初任者研修の内容変更に伴って補助教材の動画を変更するか、検討する必要があるということ。</li> <li>・ 3点目、共通事例である陽介さん事例について、今年度、現任研修のコミュニティワークの一部の内容とつじつまが合わない部分があり、来年度の現任研修に向けて、事例の内容の変更をしていく必要があるか検討をしていく。</li> <li>・ 4点目、主任研修の事前課題となっている地域資源調べについて、内容の変更や補足をしてはどうかという話がある。この書式については、初任者研修から主任研まで共通して使用するものであるため、内容整理チームで検討していくこととなった。</li> <li>・ 初回打合せは6月5日に実施予定。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次に人材育成チームから願いたい。</li> </ul>
稲垣委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダーは稲垣が務めることとなった。</li> <li>・ 近々に実習説明会を控えているため、その内容を確認した。今までグループワークを行っていた時間に、2自治体から実際の実習対応について発表いただく予定。また、実習対応のデモンストレーションのシナリオについて、大幅に変更した。去年までは気づきの多い受講者だったため、理解度の低い受講者でありつつ、最後には地域とつながることもこの実習の目的であるというところに終着できるような内容へと変更した。</li> <li>・ 現任研修の実習説明会后、初任の実習説明会の9月までの間に、三点の目標を定めた。</li> <li>・ 一つ目は、実習対応者のスキルアップについて。これまでも、実習報告書の内</li> </ul>

	<p>容がとても薄かったり、伝えていないような内容が書かれていることがあり、やはり実習対応者のスキルアップが急務ということになった。今回の説明会でも、東京都の研修の仕組みや研修でどのようなことをしているのか、研修全体像を自治体の方に説明する機会もあまりないため、説明会の中にも入れていこうと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• また、実習対応者に関して、演指研（以下「演指研」という。）の受講や専門コース別研修（スーパービジョン）の受講の促しも継続していきたい。</li> <li>• 二つ目は、ファシリテーターの育成について。今年度の現任研修ファシリテーター説明会に演指研の資料を取り入れる取組をする。さらにファシリテーターを何年も担っているが、改めて勉強したい方のために、次年度以降、例えばファシリテーター説明会実施日の午前中に演指研現任コースの内容を実施するのはどうかという案が挙がった。</li> <li>• また、現任の受講者の中に普段メインファシリテーターを担っている方がいることがあるので、その方にスーパーバイズをグループ内でやってもらえるよう協力を仰ぐという案もあるかと考えている。本来ならばファシリテーターの方々にも演指研の再受講をしていただきたいという思いはあるが、先ほど事務局からも話があったとおり、定員をオーバーしている状況なので、演指研の内容をファシリテーター説明会に持っていくという案に落ち着いた。</li> <li>• 三つ目の新しい取組としては、初任者研修の受講者が実習に行く前に不安があるということから、その解消のために、初任者研修チームへの提案になるが、5日目の説明に実習に臨む心構えのようなものを入れていただき、バイジーとしてスキルアップをして、その上で実習対応者のスキルアップと併せてやっていくことで実習の効果が上がっていくのではないかとということになった。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 次にサポーターチームからお願いしたい。</li> </ul>
蛭川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リーダーは、蛭川が務める。</li> <li>• スケジュールとしては、サポーター導入時期は令和9年の初任者研修を目指し、今年度、来年度、何をしていくかという考え方をしていく。</li> <li>• 今年度は、改めてどんな人に手伝ってもらおうのか、サポーターの役割等を改めて整理していく。</li> <li>• 目的としては、「受講者が当事者と一緒に考える場を持つことで、改めて本人中心の支援ができるようにすること」と今日改めてチームで共有をした。それを踏まえ、どんな人来ていただくか、そしてカリキュラムのどの部分に参加してもらおうか検討する。人数についても、かつては各グループに一人配置だったが、それが可能か、難しい場合はどのように配置するのか、細かい部分も検討していきたい。</li> <li>• どのように集めるかに関しては、東京都で実施されている障害者ピアサポート研修の受講生の活用も含め検討する。</li> <li>• 話し合いの経過は都度検討会に報告し、皆さんから意見をいただいた上で今年</li> </ul>

	度中に枠組みを決め、来年度は初任者研修の演習ノートの変更を意識しながら進め、令和9年度には実施する流れとすることを決めた。
吉川委員長	・3チームから発表いただいたが、何か質問や補足はあるか。
各委員	(質問等なし)

#### (6) 副委員長選出

吉川委員長	・副委員長選出ということで、各チームのチームリーダーとなった高江洲委員、稲垣委員、蛭川委員にお願いする。
各委員	(異議なし)

#### (7) その他

吉川委員長	・今日の議題は以上となる。その他なければ、司会進行を事務局に戻す。
各委員	(意見無し)

### 5 閉会

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉川委員長、皆様、ありがとうございました。</li> <li>・この後、第2回検討委員会までの間に、本日の議事録要旨案を事務局で作成し、皆様に確認をいただいたうえで、本日の資料と併せてホームページに公開する。</li> <li>・次回検討会は8月8日14時から16時、会場は本日と同様となる。</li> <li>・以上で、閉会とする。お忙しい中のご参集、誠にありがとうございました。</li> </ul>
-----	--